

平成27年7月定例教育委員会 会議録

1. 日 時 平成27年7月29日(水) 開 会 午後 1時30分
閉 会 午後 4時00分

2. 会 場 茅野市役所 701会議室

3. 出席委員	教育委員長	吉田 一	同職務代理人	小平麻里子
	教育委員	小林 智	教育委員	小林 俊恵
	教育長	牛山 英彦		
	生涯学習部長	木川 亮一	こども部長	牛山 洋治
	学校教育課長	平出 信次	文化財課長	守矢 昌文
	スポーツ健康課長	鋤柄 敏	公民館長	矢島喜久雄
	幼児教育課長	牛山津人志	こども課長	両角 勝元
	生涯学習課長	小島 吉彦	生涯学習係長	上原 平二
	教育総務係長	渡辺 雄一	こども係長	今井 明彦
	学務係主任	荒井 紀彦	教育総務主事	丸茂 直樹

4. 傍聴者 1 名

7月定例教育委員会次第

日 時 平成27年7月29日（水）午後1時30分から

場 所 市役所 701会議室

1 開 会

2 前回会議録の承認

3 報告事項

第1号 教育委員長報告

第2号 教育長報告

第3号 各課からの報告

（1）学校教育課

（2）こども課

（3）幼児教育課

（4）生涯学習課

（5）公民館

（6）文化財課

（7）スポーツ健康課

第4号 教育委員会共催後援

（1）生涯学習課

（2）スポーツ健康課

4 議 案

（1）平成28年度以降使用「中学校教科用図書」の採択について

5 検討事項

（1）茅野市教育大綱について

6 その他

（1）旭市・茅野市児童交流事業「山と海」きずなをつなぐプロジェクトについて

（2）土偶国宝指定記念特別展「縄文土器造形の頂点 5000年後の競演」について

（3）戦没者追悼式の参加のあり方について

（4）懲戒処分について

次回定例教育委員会日程について

8月28日（金）午後3時00分 「501会議室」

（事務局会議 8月18日（火）午前9時30分 「702会議室」）

吉田委員長

只今から、7月定例教育委員会を開催します。

まず、前月の6月の会議録の確認をします。何かありますか。

全委員

異議なし。

吉田委員長

本件は承認されました。なお、会議録の署名は委員会終了後にお願いします。

報告に入る前に議案1号平成28年度以降使用「中学校教以下用図書」の採択について、その他4「懲戒処分について」ですが、非公開にすることが妥当と考えるので、一番最後に非公開で行う、ということよろしいでしょうか。

全委員

異議なし。

吉田委員長

それでは報告事項第1号、教育委員長報告についてお願いします。

第1回の教育総合教育会議が行われました。内容につきましては教育大綱などについての話し合いがありました。次の教育会議では今後の教育方針について詳しく話すことになると思います。これからも年2回ほど行われるということです。7日には玉川小学校で主幹主事訪問がありました。校長先生が配慮をし、先生一人一人と懇談の時間を取るというような形でやっておりました。21日に茅野高校地域とあゆみ発展させる会の総会が行われました。茅野高校の生徒、校長先生からの学校活動についての報告がありました。今後、小学校、中学校、高校についても共に手を携えながらやっていかなければならないという思いを強く持ちました。28日には茅野市合同職員会議があり、こうした形で職員が一堂に集い、学校の方針について検討し、一つになってやっていくという形で進んでほしいなと思います。

その他については資料のとおりです。以上です。

牛山教育長

2日に豊平小学校訪問、7日に玉川小学校訪問がありました。今年6人校長先生が変わりました。豊平小学校もそのうちの1人ですが、自分の学校にはどのような課題があり、その課題についても課題解決の手段、方法についても、明確に主幹指導主事に伝えていたことに、校長先生方の前向きな姿勢を強く感じました。6日に茅野市原村青少年健全育成推進大会がありました。学校の先生方が大勢おられましたが、私たちがもっとインターネ

ットについて危険な事柄があるということを認識しなければいけないと思いました。学校教育では、先生方がインターネットについてもっと詳しく勉強しなければいけないと感じました。またスマホ、ケータイ、ゲーム機は親が購入しなければ子どもは手にできないわけですから、親教育についてもどのように充実させていかなければならないだろうかと感じました。17日に非核平和作文表彰式がありました。この作文は4中学校で行われている平和学習の結果で、各学校から2人ずつ選ばれたものです。その作文を読むと、中学生が平和についてここまで考えることができるのか、と感心しました。なぜここまで考えることができたのか、今までは読書教育によるものと考えてきましたが、毎日行われている授業の充実が、作文を書くということに繋がっているのではないかなとも思いました。ロングモントから中高生が8人、25周年ということで向こうのLSCAの方が5人お見えになりました。小学校、保育園を参観されて、日本の学生、ホームステイ先の家族は本当に親切で全面的に受け入れてくれて、心温まるおもてなしをしてくれた。日本の良さを十分に感じさせていただきました、という話を聞きました。日本の学校教育は充実しているということで、ロングモントの中高生の中には、来年できれば茅野市の学校へ留学したいと言ってくれた学生が8人中、2人いました。学生に感想を聞いて、最後に言ったことは、みな異口同音に茅野市の市長、茅野市の市民、学校の先生方に感謝します。こういうことを素直に言ってくれたことに心打たれました。今週の30日から茅野の子どもたちがロングモントへ行きますが、茅野市の子どもたちも向こうの人たちにそんな印象を与えられるような立ち振る舞いをしてくれると嬉しいと思います。他にも永明中、宮川小、米沢小、中大塩保育園を学校訪問して下さってどこの学校、保育園も本気になって迎えてくれたということに、茅野市の教育機関に感謝をしなければ、と思いました。ロングモント団の訪問は茅野市にとって大事な行事ということを思いました。

その他については資料のとおりです。以上です。

吉田委員長

次に報告事項第3号、各課からの報告をお願いします。

学校教育課長

7月30日から8月5日まで教育長先生がロングモントへ行くということで不在になります。窓口は学校教育になりますので何かありましたら、お願いします。

5日に市町村教委と県教委との懇談会があります。教育委員長の出席をお願いします。20日に市校長会があります。教育長のご出席をお願いします。28日に3時から定例教育委員会があります。教育委員、教育長のご出席をお願いします。その他については資料のとおりです。

こども課長

2日にチノチノライブがベルビア地下1F ライブハウスで行われます。5～7日にきずなプロジェクトということで、千葉県の旭市に米沢小学校と永明小学校の6年生が交流ということで旭市へ行きます。10日には主任児童委員会が開かれます。教育長のご出席をお願いします。その他につきましては資料のとおりです。

幼児教育課長

学校関係者による位置に保育士体験が7月30日から各保育園で行われます。11日に園長会を予定しています。その他につきましては資料のとおりです。

生涯学習課長

11日水曜日に調べ学習実践研修会が長峰中学校で行われます。11日には読み一む in ちの15周年ロビー展示が21日まで行われます。また12日からお昼休みにお話会が開かれます。21日には人権教育推進委員会が開かれます。今年度も人権に関する報告と講演が行われます。

次に図書館の行事予定です。6日に夏の思い出づくり講座が開かれます。21日は図書館の怪談が行われます。怪談ということで怖い話を午後7時から図書館の方で行われます。

次に家庭教育センターの行事予定です。2日に女性のための護身術が行われます。その他につきましては資料のとおりです。

公民館長

今月行われた講座の中から取り組みの様子を紹介させていただきたいと思います。どんばん歌い手養成講座は3年目を迎え、受講生の質も上がってきています。どんばん当日には小学生から77歳の方まで11人が立ち成果を披露します。そのための練習も大詰めを迎え31日には三味線やバンドと合わせる練習も予定されています。地区講座では米沢の寺子屋教室が今までに2日実施されました。昨日、伺うと30人を超える小学生が所狭しと熱心に勉強していました。米沢コミュニティーセンターの工事の関係で、今回は8月17日に行われます。

8月の行事予定ですが11日に市民芸能祭説明会が開かれます。22日には一緒に絵画を描いて楽しもう講習会が開かれます。30日には市公民館地区対抗野球大会が開かれます。その他につきましては資料のとおりです。

文化財課長

考古館の行事予定からです。8月1日から8月13日まで国宝指定記念特別展が開かれます。詳細につきましては、その他で話させていただきます。その他等の講座につきましては、特別展に関する講座や講演が開かれます。

ハヶ岳総合博物館、神長官守矢史料館の行事予定です。博物館では現在企画展「運動公園のニホンリス」が9月の6日まで開かれています。守矢史料館では8日に企画展「守矢真幸と武井真澄」が開かれます。その他につきましては資料のとおりです。

スポーツ健康課長

30日に第66回諏訪地方陸上競技選手権大会が開かれます。教育委員長・教育長のご出席をお願いいたします。31日には市営プールが閉場となります。その他につきましては資料のとおりです。

吉田委員長

諏訪地方陸上競技選手権大会ですが、教育委員長だけでなく、教育委員が毎年出席していたようですが、今年は出席しないということでしょうか。

スポーツ健康課長

また後日お調べして、お伝えします。

吉田委員長

次に報告事項第4号、教育委員会共催・後援についてお願いします。

生涯学習課長

13件の申請がありまして、要領に基づき審査して、許可しました。

スポーツ健康課長

2件の申請がありまして、要領に基づき審査して、許可しました。

吉田委員長

次に議案につきましては後に回します。検討事項1「茅野市教育大綱について」ということで、学校教育課長お願いします。

学校教育課長

検討事項1（資料説明）

吉田委員長

委員さんたちは、すでにご覧になっていると思いますが、部課長さんの中には初めて見る人もいますかと思いますが。ぜひご覧いただいてなにか意見があればお願いします。

秋にある第2回目の総合教育会議でこの案を確定していくという日程になりますか。

学校教育課長

大綱はある程度の骨組は決めさせていただいて、振興計画につきましては、何か不十分なことがあれば年度内になるということもありますが、それは並行しながらということもありますので、できれば大綱と計画が同時に決まればいいですが、大綱優先ということで進めさせていただきます。

吉田委員長

そんな状態でありますので、これから成案ができるまでの間は、学校教育課に事務局がありますので、連絡を取りながら意見を寄せていただくという形になると思いますが、今の段階で、疑問に思うところや、意見などがありましたらお願いします。

教育長

茅野市の教育が何を目指しているかということがこれを見ればわかるかということ、それが分からないようだとして修正、補足が必要になると思います。茅野市は人育ちを目指していますが、人育ちは教育であれば当然のように受け止められると思います。他にも何か違う表現があるのか、ないのか。この3つの丸が重なって、「生きる力」を育むという言葉があります。人育ちですが、茅野市の教育の目指すところには「生きる力」を育む教育がある、これが飾り文句でなく、実際に茅野市の保育園や、小学校、中学校での子どもが「生きる力」が育っていることを事実として子どもたちの姿、言動になってもらいたいです。そういう意味合いの事柄が茅野市の教育の理念ということを、私たちが担当している部署で意識してほしいと思います。茅野市教育の評価をどうすればいいかというと、「生きる力」が育まれているかどうかという、認識でいてほしいと思います。私が校長会などで校長先生方によく伝えることは、学校での授業というのは知識を習得するために行われていることが多いですが、今日の算数の授業で、ああいう知識を学んだことが最終的にはあの子たちの「生きる力」に繋がる、そういう風に授業評価もしていただきたいといつも申し上げます。一教科ごとに「生きる力」が存在しています。3つの丸が重なって「生きる力」ということになりますが、学校教育でいえば、主要5教科、その他の授業などが重なってトータルとして「生きる力」になると思います。保育園の保育、養護というところでも、保育要領で示されたことがいくつかあると思いますが、それがひとつひとつというようにバラバラになっているのではなく、それが合わさって「生きる力」になり、それが小学校に続いていくような脈絡をもって、この教育理念で示されている内容を受け止めて欲しいと思います。

吉田委員長

生きる力という言葉の内容については、人によってはイメージが異なると思いますが、学力といわれるものについて書けばいいのかというわけではなく、我々が子どもたちに教

えていかなければならないのは生きる力であるということは、間違いないと思います。それぞれの担当部署で、具体的に表すものとしてどんなことが必要かという意見をどんどん寄せてもらおうと共に、皆さんの中で思うところがあるところについて意見をお願いします。

教育長

「生きる力」というのは、大人になった時、自分一人で生き抜いていかなければいけません。一人になっても生き抜いていける、そのような力を育むこと、これが茅野市の教育理念という見方をしていると思います。ニートやフリーターを生み出さないような教育理念としても捉えられると思います。

吉田委員長

わたしは生きる力は学ぶ力でもあると思います。自ら必要なことを学ぶ力、これこそが生きる力につながると思います。こうしたことを茅野市の教育でやっていかなければいけないと思います。また茅野市で言ってきた、たくましく、やさしく、「夢」のある子ども、この「夢」を叶える力も生きる力だと思います。このあとの基本目標や施策で、より具体化していく形で茅野市の教育大綱ができることがとてもいいことだなと思います。

小林（智）委員

基本目標や施策については各課や担当などで、ある程度話し合ってきたものですか。あとスポーツ健康課に関わってくることだとおもいますが、基本施策に、歩くを基本とする市民スポーツ活動の奨励がありますが、茅野市の中を見ていて、歩くということを推進されているという印象がありませんが、スポーツ健康課では、特にここに力を入れているというような思いなどはあるのでしょうか。

スポーツ健康課

後ほど、話していこうと考えておりました。

吉田委員長

そのようなかたちで、いろいろなところで、まだ完全に成案ではなく、より良いものを練り上げていくということですね。

学校教育課長

資料の2ページまでは大綱として示すもので、3ページ以降が基本計画の中で組み込まれていく内容になるということで、基本施策につきましては基本的なことを載せてありますのでこれにいろいろ加えていき、作っていこうと考えています。

吉田委員長

要するに、今示されている基本施策などについては、バックグラウンドとして持ちつつ、大綱として示していくというのが、1、2ページということですね。

こども部長

基本施策の方があくまでも、教育振興の中のものを、ここにぶらさがっているものとしてここに載せてあるもので、当然この中で全て網羅しているわけではないので、ひとつのイメージとして出しているものです。歩くというのは、泉野の方で熟年体育大学として10年前からずっと取り組んでいるもので、ひとつの健康のキーワードとして、歩くという部分について取り組んでいます。あとは生涯学習とスポーツ健康課で話し合って教育進行計画の中に入れていってもらいたいと思います。

吉田委員長

教育振興計画もこうして進められていくという中で、表で教育大綱として示していくものと、その陰に具体的な施策をもって進めていく、という流れであり、さらに基本的には1、2ページぐらいの分量で大綱としては考えていくわけですね。先ほど教育長先生がおっしゃった部分がより明確になるように練り上げていきたいということで、ときにはこういう形で話題に挙げ、検討していくということでもよろしいでしょうか。

生涯学習部長

今、教育長先生がおっしゃった生きる力というものに、今習っている、理科や算数、社会などを生きる力につなげていくんだ、という思いを乗せていったらいいとおもいます。

吉田委員長

生涯学習部長がおっしゃったことを含めて、文案を練っていこうと思います。

こども部長

他の市町村の教育大綱を見ますと簡略にしていますので、だらだら書くより、分かりやすくした方がいいかなと思います。教育長がおっしゃったように、ここで初めて出てきたわけではなく、茅野市教育にあった部分を形として表して生きているということなので、今までの蓄積の部分の中で表したということです。

吉田委員長

私たちもこれを見て、考えていきますが、部長、課長さんたちも自分と関わりがあるところ限定するわけではなく、また意見を寄せていただければと思います。

小平委員

目指す姿というのは、端的に分かりやすいですが、目指す姿の図の下に生きる力を育むとはというような説明を入れれば生きる力の重要性が、より分かりやすいと思います。

吉田委員長

今の小平委員さんのお話も含めて検討していくということでお願いいたします。

次にその他1「旭市、茅野市児童交流事業 海と山 きずなをつなぐプロジェクトについて」ということでこども課長お願いします。

こども課長

その他1（資料説明）

吉田委員長

交互に交流をしていくわけですが、茅野市では、今年は永明と米沢の6年生が行き、次の機会には別の学校でというように順次、多くのこどもが行くようになっている訳ですね。

こども課長

23年度から始まった行事ですが、多くのこどもが行くという機会としてはいいと思いますが、この人数だけのこどもが単年でいくのはどうなのか、という声もありますのでもう少し検討したいと思っています。

こども部長

23年度に向こうのPTAの方が言ってきて、教育委員会というよりは茅野市のPTA連合会の方が話を受けてやったような事業で、それ以降、続けていくということで教育委員会が受けたということです。なので本格的に検討して始めたものではないので、そこらへんをどうするかということもあります。

学校教育課長

いろんな危険性もありますので、どこまで継続させるかも考えていかなければいけないと思います。

こども部長

旭市は姉妹都市なのですが、一時期交流が途絶えた時期がありまして、旭市からするとこういう機会が交流ができればいいなという考えもあると思います。

小林（智）委員

大人レベルで交流というと、茅野どんばんで物産を売ったりしているぐらいだと思うので、市民の中でも姉妹都市という意識が薄れていると思いますので、子どもたちから少しずつ意識がでてきて、それが大人に波及というようになるのではないかと思います。

吉田委員長

いろんな状況の中でどうするかということが明確にはなっておりませんが、今後この事業についてどうするかについては検討していくということでよろしいでしょうか。

全委員

異議なし。

吉田委員長

次にその他 2、土偶国宝指定記念特別展「縄文土器造形の頂点 5 0 0 0 年後の競演について」、文化財課長から説明をお願いします。

文化財課長

昨年の 8 月の 2 1 日に、仮面の女神が国宝になったことを記念しまして、土偶国宝記念特別展が尖石縄文考古館で行われます。期間が約 1 か月間となります。借用資料として十日町遺跡から土器を何点かを借ります。山梨県、となりの富士見町からもいくつかの土器などのレプリカを貸していただきます。この企画展に関しまして、山梨県、十日町の土器の専門家を招きまして、土器の魅力について語るということを計画しております。

吉田委員長

そのような企画展が行われるということで、資料にもありましたがご承知おきください。

吉田委員長

次にその他 3、戦没者追悼式の参加のありかたについて、学校教育課長から説明をお願いします。

学校教育課

市長への手紙の中の要望のなかで、他の市町村では学校の代表生徒が来てくれて、花を手向けるといようなことをしていますが、茅野市はそういうことをしてくれない、前々からそういうお願いをしてきているが、なかなか目を向けてくれないということで、茅野市でも生徒の代表を呼んで、花などを手向けてくれないかという話がありました。追悼式を調べてみますと、亡くなった故人の方を偲ぶ、悲しむためにやっているものなので、直接関係ない生徒の方に花を挙げさせるというのは、教育上どうなのかと思います。たとえ

ば平和学習で広島へ行った生徒がその事業の一環などにすればいいと思いますが、追悼式だけに生徒を出すのは難しいという回答はさせていただきましたが、教育委員会としてはこういうことに協力していった方がいいのか、静観していた方がいいのか、ご指示をいただけたらと思います。

こども部長

追悼式は今まで社協が主催でしたが、昨年度から茅野市が主催になりましたのでそういう問題があったかもしれません。

吉田委員長

社会福祉協議会から市へ行事が移った経緯みたいなものは何かあるのですか。

こども課長

県におきましても、行政が主催で、6市町村の中でも茅野市だけが社会福祉協議会だったので、昨年度から茅野市へ移ったということです。

生涯学習部長

戦争の悲惨さ、平和の大切さなどを広島に生徒を派遣して平和の学習としてやってきたので、これだけのために生徒を派遣するというのはどうのかなと思います。平和教育の一環として、授業の一つとして追悼式に参加するがいいと思います。

こども部長

他のやっている市町村を調べてみますと、平和の作文コンクールの表彰と合わせて献花をするというようなことをやっていました。

こども課長

やはり遺族会の方からすると何十年も過ぎる中で、献花する人たちが減ってきてしまうので、子どもたちに平和の集いといいますか、平和について、戦争について知ってほしいということを何回か聞いていたので、そういう意味で声がかかったということだと思います。

吉田委員長

この追悼式は8月に市民館で行われている追悼式ですね。ここに子どもたちに参加してほしいというのは遺族会からの話ということですか。

学校教育課長

市長への手紙なので遺族会からとは書いてありませんでしたが、その関係者の方かと思っています。

生涯学習部長

平和の火の時は派遣をするということではなく生徒がたくさんいました。クラスで来ていたり、個人で自主的にも来ていたりしました。

小平委員

今までに案内が来ることはありましたが、1度も参加することができませんでした。この時期になるといろいろな読み聞かせがあり、戦争の話などを聞いておりました。遺族の方が減ってきていまして、自分のおじいさんが戦争で命を落としたというような関係があるので、これにもし参加するとなれば、平和学習の上にあるならば参加する意味はあると思います。この追悼式のみに参加させるのではなく、戦争の悲惨さなどを調べたりして、段階を踏んでから参加するべきだと思います。

小林（智）委員

今までの話を聞いて献花をするだけのために参加させるのは、意味がないと思いますが、やはりいろんな平和学習の中で参加するのであればとても意味はあると思います。

小林（俊恵）委員

追悼式、単独でやるのではなく、平和について勉強して、子どもたちが自分たちも意志を育んでいかなければと思うようになれば、追悼式に参加すればいいと思います。

吉田委員長

追悼式では、参加した人が全員献花したと思います。参加した人は社会福祉協議会の人や遺族会の人だと思いますが、その遺族会の人たちが小学生や中学生を連れていくのに問題はないと思うので、参加者の方が必要だと思えば、こどもを連れて行って献花をしてもらうのが一番自然な形だと思います。わざわざ小学校、中学校で代表を選ぶのは教育の本質にそぐわないと思います。必要があるところに関しては生徒に参加していただくというのがいいと思います。

教育長

これは非常に難しい問題だと思います。身内のご遺族の方々にしてみれば、自分の家のおじいさんと間接的に関係があった人などに出ていただきたいというような意味合いが強いと思います。今までの様子を聞いているとそんな意味合いが強いと思います。広島への

平和学習という意味合いで茅野市4中学校の2年生が勉強していますが、この意味合いでの戦争と平和というものと遺族会の方の意味合いとニュアンスが少し違うと思います。私たちが教育としての中身を、どういう風に考えるかで積極的に参加するか静観するか変わってくると思います。学校教育課長がおっしゃったように追悼式という意味合いを考えると関係する人たちに参加してもらうという意味合いが強いと思います。しかし直接は関係しなくても、そういうことではないという考え方もできるので、ここで決めるにはちょっと難しいと思います。

吉田委員長

様々なニュアンスはあると思いますが、こんな意見があったということには、学校等でも問題にしてお話の中で考えていただくことはあるかもしれませんが、当面は今までの形式を通していくということになると思います。

学校教育課長

また担当者と相談して、前半の部分で作文の表彰を行うなどの内容に変わっていくならば、その時に流れを変えていけばいいと思います。今の状態では、今まで通りということになります。

吉田委員長

子どもたちが参加する道が開かれていないわけではないので、追悼という思いを持ったお子さん方で、できるのであればご遺族の方で声をかけていただければと思います。

(非公開部分)

吉田委員長

次回定例教育委員会ですが、8月28日金曜日午後3時00分時から、事前を午後2時30分から開催したいと思います。よろしいですか。

全委員

異議なし。

吉田委員長

ご異議ないようですので、そのようにいたします。

以上で7月定例教育委員会を終了します。

茅野市教育委員会会議規則第19条第2項の規定によりここに署名する。

平成27年8月28日

茅野市教育委員会 委 員 長

職務代理者

委 員

委 員

教 育 長

こども部長